

驚く 掌を内側にして五指の指頭を上にした手を（親指と人差指の間をV字形に開く）胸の下部辺りにあてがい、そのまま、上へ首もとまですり上げる。驚いて腹の臓腑が上へ激動するばかりと云うこと。

同じ 「一緒」と同じ手まね。

伯母 父（或は母）の姉。

父（或は母）に添えて左の女性（薬指）をそれより少し高い目にする。

叔母 父（或は母）の妹。

父（或は母）に添えて、女性（薬指）を少し低い目にする。

鬼 指頭を上にした人差指の両手を頭の上左右につけて鬼の角を表わす。

各々 人差指の指頭を胸下部に直角につけ、そのまま指頭を上へすり上げてから、その指を前にさし出す。

これは「自分一人」と云う手まねである

が、これを左右両手の人差指で交互に手まねすると、「自分一人自分一人」となって、即ち「めいめい」「各々」「夫々」と云うことになる。

憶える 右手を頭右上で何にか掴むように、しっかりと五指を握りしめる。頭の中にしっかりと把握したこと。

おぼつかない 親指と折り曲げられた他の四指の間に同じ側の頬を挟みつまみ、思案げに顔を少し傾ける。「むづかしい」「出来ない」の手まねともなる。

重い 下腹部の前辺りから、両手で物を持ち上げようとして、重さで持ち上げかねる身振表情。

思い（思う） 人差指の指頭を頭（こめかみの上辺り）につける。

思いきる 「諦める」と同じ手まね。

思い忍ぶ（思い焦れる） 掌を前に向け五指

の指頭を上にした右手の親指の指頭を頭右上こめかみの上につけてから、五指をこまかく波打たせながら、右上へ斜めに手を離して行く。次に両手を交叉して胸

にあて小首を傾しげ思い忍ぶ表情。

思い違い 五指を集め合わせた両手で左右それぞれの眼をつまむようにして、次に左右両手を交叉して夫々の手の位置を切替える。眼(手)の位置を替えるのは間違ったことになる。

思い出 「思い忍ぶ」の第一次の手まね。両手を胸に当てる身振を省く。

思いやり 五指を集め合わせて下に向けた両手を間隔をおいて前後一直線に並らべてから、同時に両手をそのまま左右に廻わして、両手の位置を逆に置き替える。対手の心を自分の心に置きかえる。と云うこと。

面白い 「嬉れしい」と同じまね。

表向き 掌を内側にして五指の指頭を右にさした左手の手甲(表)を右手人差指でさす。

親 「父母」と同じ手まね。

親方 「主」と同じ手まね。

折々 「時々」と同じ手まね。

愚 掌を前に向け五指の指頭を上にした手の親指の指頭を頭の上に(こめかみの上)につけると同時に他の四指を折り曲げる。頭脳が塞さがっている。

終る(終り) 五指の指頭を前にさし掌を右



に向けた左手に五指の指頭を左にさして掌を内側にした右手直角につける。オルガン 両手でオルガンの